

社会資本総合整備計画

平成28年 3月 1日

計画の名称	18 鹿児島県における道路の総合的な生活空間の安全確保				重点計画の該当	○
計画の期間	平成24年度 ~ 平成28年度 (5年間)	交付対象	鹿児島県			
計画の目標						

安全で円滑な交通を確保するため、すべての人が快適に通行できる道路の整備を実施し、通学路や交通事故の多発箇所など、道路の周辺環境にあわせて、交通安全の確保、歩行空間のバリアフリーを考慮した自転車歩行者道の整備、交差点改良、区画線、照明灯、道路標識、防護柵などの整備を行うことにより、安心して快適な生活空間の確保を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・通学路の緊急合同点検等によって抽出された要対策箇所の対策済率を5箇年で91%にする。
- ・改良により安心・快適な走行時間とゆとりの時間を679時間(H26末)創出
- ・都市内道路の整備計画区間における走行時間損失をH26末までに2割削減

定量的指標の定義及び算定式

※「ゆとり時間の創出」については、目標値の明確化のため、27年度以降、「要対策箇所の対策済率」の指標を採用することとする

緊急合同点検等によって抽出された要対策箇所の対策済率

$$\text{「要対策箇所の対策済率」} = \frac{\text{通学路安全対策実施箇所数（箇所）}}{\text{通学路の要対策箇所数（箇所）}}$$

創出される安心・快適な走行とゆとりの時間を算出 「安心走行時間」

$$\text{「安心とゆとりの創出時間」} = (\text{改良後延長} / \text{将来速度}) \times \text{将来交通量} + \{ (\text{現況延長} / \text{現況速度}) - (\text{改良後延長} / \text{将来速度}) \} \times \text{将来交通量}$$

走行時間損失の削減割合

$$\text{「走行時間損失の削減割合」} = \{ (\text{評価時における走行時間損失} / \text{現況（H22）における走行時間損失} - 1) \} \times 100\%$$

	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)	
緊急合同点検等によって抽出された要対策箇所の対策済率	—	25%	91%	・鹿児島県地域強靱化計画に基づき実施される要素事業 A-12, 13, 14, 55, 60, 62
創出される安心・快適な走行とゆとりの時間を算出 「安心走行時間」	—	679 時間	—	・大隅定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される要素事業 A-63
走行時間損失の削減割合	358時間	294時間	—	・薩摩川内市定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される要素事業 A-75

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	12,683百万円	A	12,683百万円	B	0百万円	C	百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合	0.0%
-------	--------------	-----------	---	-----------	---	------	---	-----	---	------	------------	------

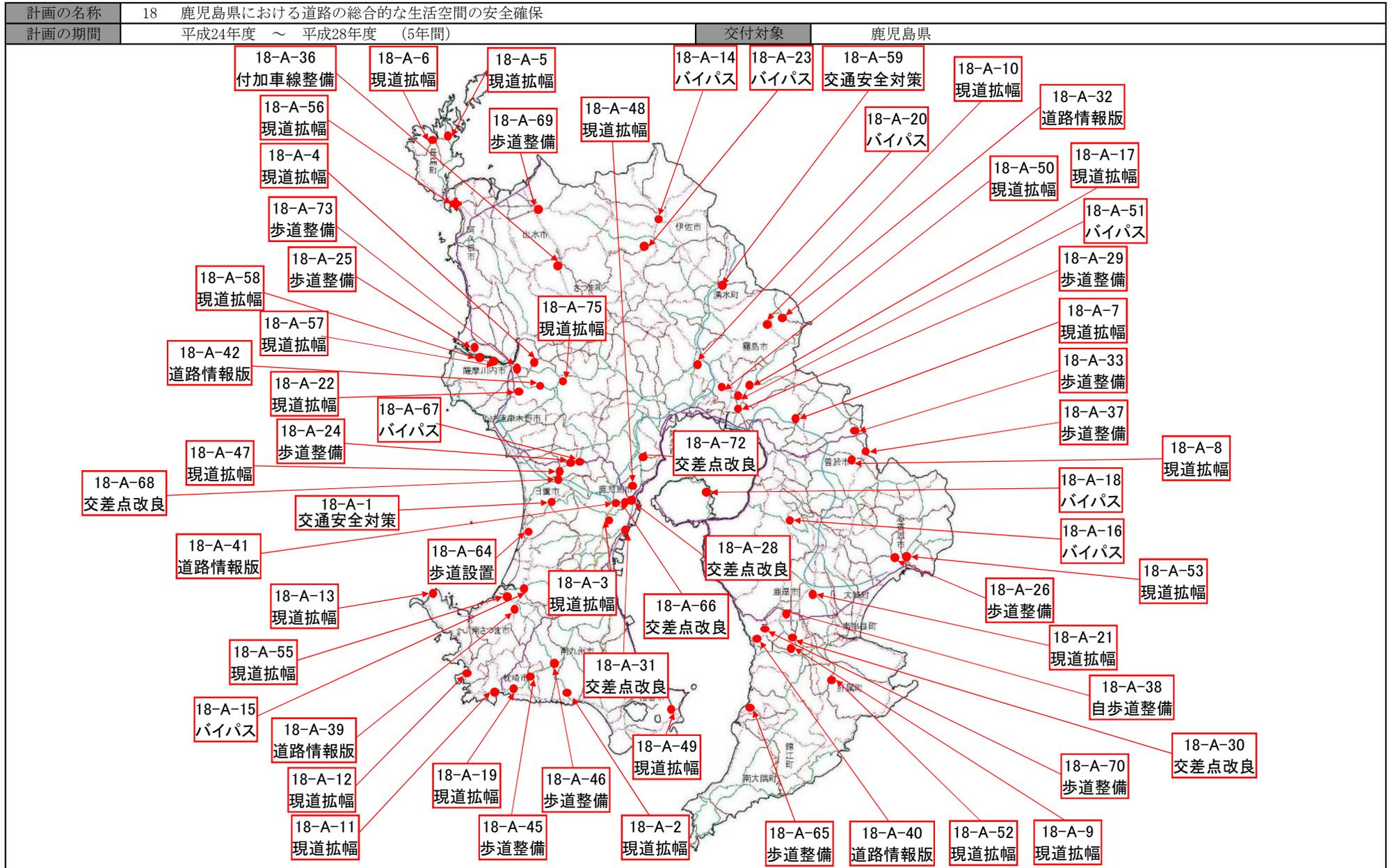
交付対象事業

A 基幹事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	備考
											H24	H25	H26	H27	H28			
18-A-1	道路	一般	鹿児島県	直接	—	都道府県道	交安	(主) 伊集院日吉線・日置区外	交通安全対策 27箇所	日置市外						223	—	
18-A-2	道路	一般	鹿児島県	直接	—	都道府県道	改築	(主) 石垣加世田線・水成川工区	現道拡幅 L=0.8km	南九州市						40	—	
18-A-3	道路	一般	鹿児島県	直接	—	都道府県道	改築	(一) 小山田谷山線・山田工区	現道拡幅 L=0.2km	鹿児島市						40	—	
18-A-4	道路	一般	鹿児島県	直接	—	都道府県道	改築	(一) 川内祁答院線・杉馬場工区	現道拡幅 L=0.6km	薩摩川内市						50	—	
18-A-5	道路	一般	鹿児島県	直接	—	都道府県道	改築	(一) 長島宮之浦港線・鷹巣工区	現道拡幅 L=0.1km	長島町						50	—	
18-A-6	道路	一般	鹿児島県	直接	—	都道府県道	改築	(一) 長島宮之浦港線・平尾工区	現道拡幅 L=0.2km	長島町						50	—	
18-A-7	道路	一般	鹿児島県	直接	—	都道府県道	改築	(一) 大川原小村線・佳例川工区	現道拡幅 L=0.4km	霧島市						30	—	
18-A-8	道路	一般	鹿児島県	直接	—	都道府県道	改築	(一) 光神山諏訪方線・湯之尻工区	現道拡幅 L=0.3km	曾於市						30	—	
18-A-9	道路	一般	鹿児島県	直接	—	都道府県道	改築	(一) 鹿屋環状線・萩塚工区	現道拡幅 L=0.6km	鹿屋市						40	—	
18-A-10	道路	一般	鹿児島県	直接	—	国道	改築	(国) 223号・小谷拡幅	現道拡幅 L=0.3km	霧島市						405	—	
18-A-11	道路	一般	鹿児島県	直接	—	国道	改築	(国) 226号・大塚拡幅	現道拡幅 L=0.4km	枕崎市						531	—	
18-A-12	道路	一般	鹿児島県	直接	—	国道	改築	(国) 226号・坊ノ津道路	現道拡幅 L=1.4km	南さつま市						523	—	
18-A-13	道路	一般	鹿児島県	直接	—	国道	改築	(国) 226号・笠沙道路	現道拡幅 L=1.4km	南さつま市						950	—	
18-A-14	道路	一般	鹿児島県	直接	—	国道	改築	(国) 267号・木之氏バイパス	バイパス L=0.9km	伊佐市						561	—	
18-A-15	道路	一般	鹿児島県	直接	—	国道	改築	(国) 270号・宮崎バイパス	バイパス L=0.2km	南さつま市						130	—	
18-A-16	道路	一般	鹿児島県	直接	—	国道	改築	(国) 504号・百引拡幅	バイパス L=2.4km	鹿屋市						140	—	
18-A-17	道路	一般	鹿児島県	直接	—	都道府県道	改築	(主) 都城隼人線・重久工区	現道拡幅 L=0.5km	霧島市						0	—	
18-A-18	道路	一般	鹿児島県	直接	—	都道府県道	改築	(主) 桜島港黒神線・宇土工区	バイパス L=0.4km	鹿児島市						30	—	
18-A-19	道路	一般	鹿児島県	直接	—	都道府県道	改築	(主) 枕崎知覧線・中原工区	現道拡幅 L=0.4km	枕崎市						500	—	
18-A-20	道路	一般	鹿児島県	直接	—	都道府県道	改築	(主) 伊集院蒲生溝辺線・有川工区	バイパス L=0.3km	霧島市						135	—	
18-A-21	道路	一般	鹿児島県	直接	—	都道府県道	改築	(主) 高隈串良線・有里2工区	現道拡幅 L=1.1km	鹿屋市						0	—	
18-A-22	道路	一般	鹿児島県	直接	—	都道府県道	改築	(一) 百次木場茶屋線・川永野工区	現道拡幅 L=1.1km	薩摩川内市						200	—	
18-A-23	道路	一般	鹿児島県	直接	—	都道府県道	改築	(一) 鶴田大口線・曾木工区	バイパス L=0.5km	伊佐市						30	—	
18-A-24	道路	一般	鹿児島県	直接	—	都道府県道	交安	(主) 伊集院日吉線・麦生田工区	歩道整備 L=0.4km	日置市						310	—	
18-A-25	道路	一般	鹿児島県	直接	—	都道府県道	交安	(主) 京泊小路線・小倉工区	歩道整備 L=0.6km	薩摩川内市						257	—	

													合計		12,683			
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)		備考	
										H24	H25	H26	H27	H28				
													合計		0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考	
C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)		備考	
										H24	H25	H26	H27	H28				
													合計		0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考	
D 社会資本整備凹滑化地籍整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)		備考	
										H24	H25	H26	H27	H28				
													合計		0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考	

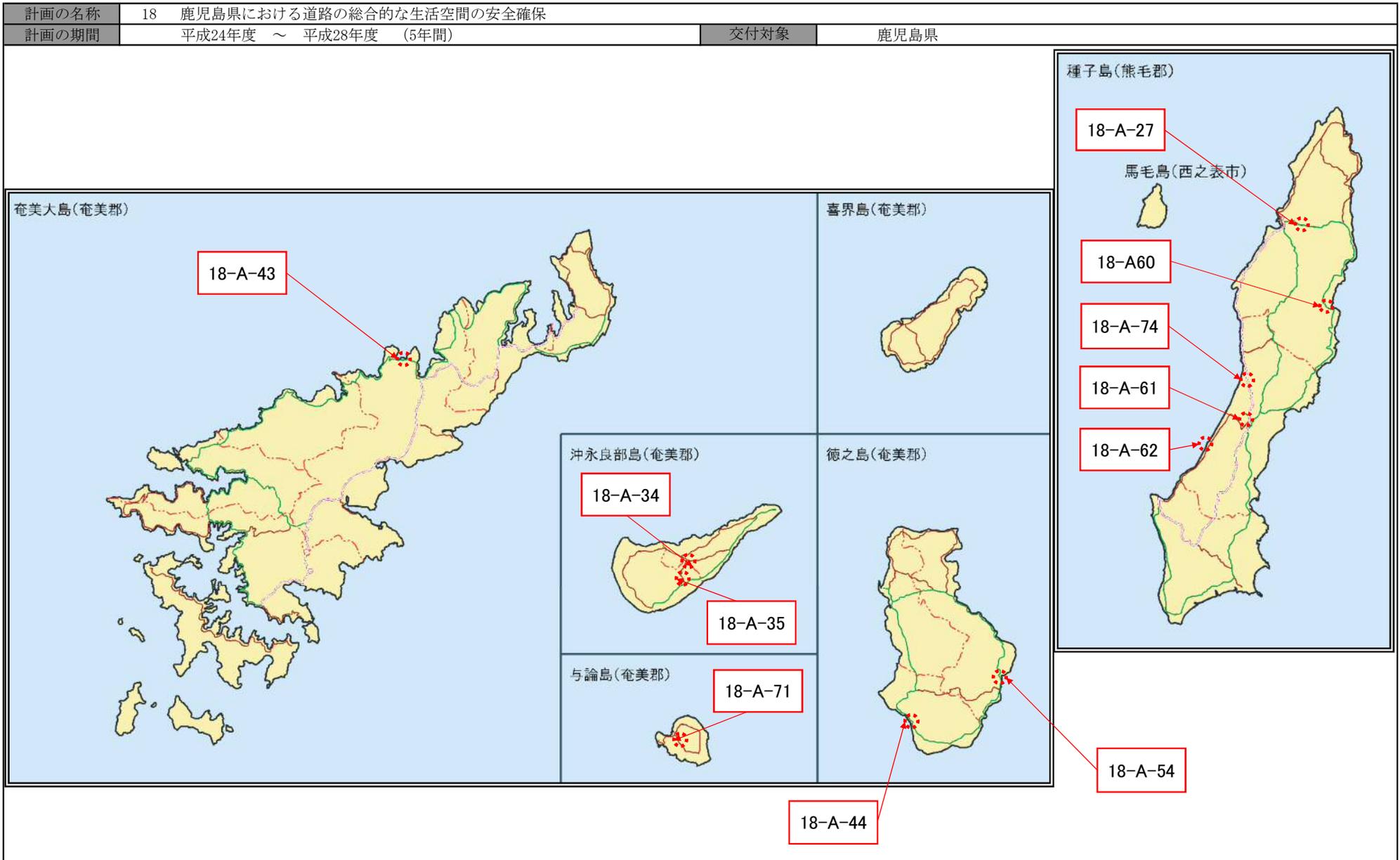
(参考様式3)

(参考図面)防災・安全整備計画



(参考様式3)

(参考図面)防災・安全整備計画



社会資本整備総合交付金チェックシート

(防災・安全交付金事業)

計画の名称：鹿児島県における道路の総合的な生活空間の安全確保

事業主体名：鹿児島県

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①計画が上位計画等と適合している。	○
②地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
③数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
⑤指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
⑥指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
⑦十分な事業効果が見込める。	○
⑧他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑨計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
⑩地域の協力が見込める。	○
⑪関連する地方公共団体等との調整が図られている。	○